社会福祉法人秋桜会
理事長 加賀 武夫 様

報告者：湊高台こども園
園長 加賀 昭子

園評価報告書

令和2年度園評価を実施しましたので、報告します。

1 園の教育目標

「こころも からだも つよいこ」

- 明るく元気なこども
- 自分で考え、行動することも
- 思いやりのあるこども

2 令和2年度の重点目標・計画

- 明るく元気なこども
 - ・外遊びで体を十分に動かし、丈夫な身体をつくる。
 - ・なわとび、巧技台を使って、様々な動きを身につける。
 - ・基本的な生活習慣を身につけ、健康に過ごす。(あいうべ体操の実施)
- 思いやりのあるこども
 - ・絵本の読み聞かせを充実させる。～一緒に絵本を楽しもう～
0・1歳児への月刊絵本プレゼント。(親子関係の基礎となる愛着形成の重要性)
 - ・自己肯定感を高め、お互いに認め合う態度を大切にする。
- 自分で考え行動する
 - ・友達、異年齢児、保育者、調理員等様々な人とかかわりながら活動する。
 - ・きまりの大切さを理解する。
 - ・リトミック遊びを取り入れ、即時反応力、協調性などを身につける。

食育目標～楽しくおいしく食べよう～

- ・様々な人と一緒に食べる楽しさを味わう。
- ・朝ご飯を食べる。
- ・野菜の栽培(じゃがいも、さつまいも、夏野菜)をとおり、食べ物に興味を持ち感謝して食べる。

子育ての支援

- ・子育て通信「コスモスだより」の発行。
- ・子育て相談の機会を設定し、子育てに対する不安を解消できるように支援を行う。

・子育て世帯同士が交流する機会を設ける。

3 評価について

保護者、職員にアンケートを実施し、どの程度達成されているかを点数化した。アンケートは、各項目について、

5:とてもそう思う 4:おおむねそう思う 3:少しそう思う 2:あまりそう思わない

1:まったくそう思わない 0:よくわからない、無回答 で回答してもらった。

集計後、5→5点…1→1点として点数化し、平均値を出した。

アンケートの方法：無記名（ただし、クラスは明記）

期間：令和3年2月10日～2月18日

対象者：保護者136名 回収率：95.6% 職員名36名 回収率100%

(1) 教育課程・指導について

内容	取り組み状況	令和元年度 (昨年度)	評価
① 基本的な生活習慣が身につくように働きかけをする。	自分のことを自分でできるように促したり、家での生活の様子を保護者と情報交換を行うなどして、働きかけをした。	保護者 4.6 (4.5) 職員 4.4 (4.4)	昨年度と同等の結果であった。クラスによりばらつきがあるものの、年長児クラスでは「とてもそう思う」の割合が高いことから、生活習慣が身につけていると思われる。
② 発達段階に応じた教育の視点を取り入れた保育を行う。	色、形などをもとにした集合遊びを積極的に取り入れ、集合という概念に興味を持てるようにした。 リトミック遊びの実施。	保護者 4.4 (4.5) 職員 4.1 (4.3)	保護者、職員ともに昨年度より微減した。 参観日を実施できなかったことが大きかった。普段の活動の様子が保護者に伝わるように工夫する必要がある。
③ おはよう、おやすみ、ありがとうなどのあいさつが出来るか。	毎日の生活の中で、どんなときにどんなあいさつをするのが良いかを繰り返し伝えていった。	保護者 4.5 (3.5) 職員 3.8 (4.3)	保護者の評価が上昇したが、職員の評価は減少した。クラスにより差がみられる。保護者の評価が高くなったことから、家庭でのあいさつが身についたと思われる。
④ 人の話を注意して聞く。	話している人の目を見ること、大事なことを話すときに「お話しします」という言葉がけの後に話し始めるなど、聞く体制が出来てから話始めることにした。	保護者 3.7 (3.5) 職員 3.5 (3.8)	すべてのクラスで評価は低めだったが、保護者の評価は上がった。 園では、活動にメリハリをつけて集中できるように習慣づける、保育教諭の言葉がけを統一するなど、誰が前に立っても集中して聞くことができるように指導する必要がある。

※1～4は3歳以上児のみの回答

(2) 年間行事について

内容	取り組み状況		評価
⑤ 園行事の計画と運営は適切に行われたか。	行事のための詰込みの練習に偏らないように、子どもたちの様子や普段の生活の中で実践していることを取り入れるようにした。	保護者 4.2 (4.5) 職員 4.3 (4.3)	新型コロナウイルス対策のため、行事の見直しを行い、保護者の理解・協力も得ながらの行事運営となった。中止となった行事もあり残念という意見もあったが、制限がある中でも開催できた行事は概ね好評を得られた。

(3) 健康保健・安全対策

内容	取り組み状況		評価
⑥ 子どもの体調に気を配り、家庭との情報共有に努め、	家での子どもの状況を、連絡ノートや朝夕の送迎の際に情報交換をするように努め	保護者 4.6 (4.6)	様子がいつもと違う場合は、こまめな体温計測等を行い、経過観察することに努めた。また、保護者にも協力し

適切に対応する。	た。また、朝体調のすぐれない子は定期的に検温するなどして経過を観察した。	職員 4.7 (4.6)	ていただき、早めのお迎え、通院等により体調不良が長引かないようにした。
⑦ 健康管理、感染症などに対する情報を提供する。	玄関のホワイトボードに、現在流行している感染症や人数を掲示したり、園だよりで情報提供を行った。	保護者 4.4 (4.5) 職員 4.6 (4.7)	感染状況だけではなく、病気についてのチラシを玄関に掲示することで、わかりやすいといった声があった。引き続き健康管理、情報提供を行っていく。
⑧ 園の施設環境を適切に整え、清潔に保つ。	定期的に施設を見回りしながら点検し、遊具や施設を整備・修繕した。	保護者 4.5 (4.7) 職員 4.6 (4.5)	昨年と同等の結果であった。引き続き環境美化、設備の点検整備を行っていく。
⑨ 新型コロナウイルス対策	普段の清掃、除菌作業に加え、人の手が触れやすいところは頻回に除菌を行った。	保護者 4.3 職員 4.5	アルコール、次亜塩素酸水を確保し園内の除菌に努めた。来客者用に玄関にもアルコールを設置し、感染対策を徹底した。

(4) 園全体の運営

内容	取り組み状況		評価
⑩ 子どもの状況について、保護者と情報交換を行う。	連絡帳や送迎時の対話などで、子どもについての情報交換をし、相談を受けたり助言を行ったりした。 特に支援が必要な子については、時間を取って保護者と話し合いをし、共通認識をもって保育活動が出来るようにした。	保護者 4.5 (4.5) 職員 4.2 (4.3)	連絡帳にその日の様子が書いてあり園での様子が分かって安心しているという意見がある一方、園内の様子が全く分からないという意見もあった。 今年度は特に子どもたちの様子を観る機会が少なかったこともあると思われる。保護者とのコミュニケーションを密にし、信頼関係構築に努めていく。
⑪ 園からの手紙等（お知らせ、園だより、食育だより、ホームページ等）で家族や地域への情報提供を行う。	園だより、クラスだよりはそれぞれ月1回発行し、子育てに関する情報を掲載するようにした。ホームページでは、行事や普段の様子を写真付きで紹介した。	保護者 4.5 (4.6) 職員 4.6 (4.4)	行事予定や物品の準備はもっと早く情報が欲しいという意見が多かった。またクラスだよりの写真についての意見もあった。早期の情報発信に努めるとともに、園での様子がよりわかりやすい内容にしていく。
⑫ 絵本読み聞かせ、絵本プレゼント、クラスだよりでの絵本紹介。	0歳児1歳児クラスの園児に月1冊の絵本をプレゼントする事業を行った。また、クリスマスには全園児に絵本をプレゼントした。また、毎月のクラスだよりの中で園で読んでいる絵本の紹介をした。	保護者 4.5 (4.4) 職員 4.3 (4.6)	保護者の評価が昨年度より微増した。0,1歳児の保護者からは絵本プレゼントが好評であり、読み聞かせをする機会が増えることで親子のふれあいの時間が多くなったという意見があった。また、絵本紹介も保護者が本を選ぶ際の参考になったと思われる。
⑬ 外遊び、巧技台、ランニングによる体力づくり。	外遊びをする時間を増やした。遅番の時間や、少しでも時間のある時に外に出て遊ぶようにした。	保護者 4.3 (3.8) 職員 4.0 (3.6)	保護者・職員ともにポイントが上昇した。毎朝のなわとびを続けたこと、天候が良いときは外遊びするようにしたことで、身体能力の向上と体力づくりにつながった。
⑭ 食育について積極的に取り組む。	じゃがいも、サツマイモ、夏野菜の栽培を行い、その様子を玄関に写真付きで掲示した。 年2回、食育だよりを発行した。	保護者 4.5 (4.4) 職員 4.3 (4.5)	じゃがいもやサツマイモの植え付け、夏野菜の栽培を通して、野菜の育つ様子を観察できた。収穫では年長組だけでなく他のクラスの子も収穫できた。収穫直後の野菜の香り、感触も体験できた。 献立レシピの提供は大変好評だった。給食の展示回数を増やしたことで、保護者にも給食の様子がより身近に感じられたと思われる。

⑮ 子育ての支援（子育て情報提供、育児相談）について。	子育て通信の発行、子育て相談を行った。	保護者 4.3 (4.1) 職員 4.2 (4.4)	子育て支援事業（コスモスひろば）は実施することはできなかったが、子育て通信で情報提供を行った。また保護者との情報交換を密にし、相談する機会を増やした。
⑯ 小学校と連携し、スムーズな就学を支援する。	湊小学校…湊地区幼保こ小連携協議会に参加。 青潮小学校…就学予定児の情報交換等。	保護者 3.2 (4.1) 職員 4.2 (4.4)	昨年度より大きくポイントが減少した。新型コロナウイルス対策のため活動ができなかったこと、取り組み内容を保護者に伝えることができなかったことが要因と考えられる。

【全体の評価】

○クラス運営の評価について

活動の時間を長めに設定することで、余裕を持って活動できていた。

外遊びや運動をする機会を増やしたことで、基礎体力や運動能力がついてきたように感じられる。

昨年度の課題となっていた、外遊び、給食に関することについては、保護者からの評価は高くなった。特に給食のレシピ配布が良かったという声が聞かれた。今回のアンケートで意見があったことについても、園全体で改善していくよう引き続き取り組んでいく。

○保護者からの意見が多かったこと

- ・行事などの予定をもっと早めに教えてほしい。
- ・新型コロナウイルスのため仕方ないが、行事が中止になることが多く残念だった。
- ・新型コロナウイルスの中、いつも変わらず保育していただいで感謝している。

○次年度に向けて

令和3年度も、新型コロナウイルス対策をしながらの教育保育活動になると思われる。今年度実施できなかったことについて工夫しながら実施出来たらよいと思う。

今年度の職員研修はほとんどが中止となったが、年度後半からはWebでの研修も出てきたので、次年度はそれらを活用しながら進めていきたい。